



# What's up, OITA!

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

## 大分県外国人材アドバイザー委嘱

令和5年2月20日（月）に、大分県庁にて「大分県外国人材アドバイザー委嘱式」が行われました。

今回、アドバイザーに就任されたのは、大分県海外めじろんサポーターとして活躍するベトナム出身で立命館アジア太平洋大学元留学生の佐々木泉さん（ホーチミン在住）と別府市出身でインドネシア大分県人会の吉渡剛さん（ジャカルタ在住）です。お二人とも、現地で人材関係業務のご経験があり、外国人材活用に対する豊富な知見をお持ちです。

大分県では今後ますます深刻化する人手不足に対応するための取り組みとして、外国人材の積極的な受入を図っていくこととしており、大分県及び現地双方の事情に詳しい佐々木さんと吉渡さんにご協力を頂くものです。

今後、外国人材分野における大分県とベトナム、インドネシアのさらなる関係強化が期待されます。



佐々木 泉アドバイザー



吉渡 剛アドバイザー

### ◎ 大分県の外国人材受入状況

令和4年12月時点で、大分県内には15,249人の外国人の方がお住まいです。

#### 【国籍別人数トップ3】

第1位：ベトナム（3,159人） 第2位：中国（2,279人） 第3位：韓国（1,727人）

#### 【在留資格別トップ3】

第1位：技能実習 第2位：留学生 第3位：専門的・技術的分野

# 在福岡ベトナム社会主義共和国領事館 ヴー・チ・マイ総領事 が来県されました



ヴー・チ・マイ総領事と

2月6日（月）に、在福岡ベトナム社会主義共和国領事館のヴー・チ・マイ総領事が、広瀬勝貞知事に着任のご挨拶に来られました。

大分県内在住のベトナム人数はR4.12月時点で3,159人で、国別のトップとなっています。また、今年は日越外交関係50周年の節目の年でもあり、大分県とベトナムのさらなる関係強化が期待されています。



## 県内のニュース

2月に起こった県内の出来事やニュースについてご紹介します。

- ・「空飛ぶクルマ」大分市で有人飛行 国内初、試験に成功
- ・トリニータのホーム開幕戦、1万5千人の大声援が連勝導く
- ・杵築市特産のデコポン、ドバイに初出荷 競合他社なく「魅力的な販路」
- ・臼杵市の魅力を走ってPR 国宝臼杵石仏などのデザインをプリントした「ラッピングトラック」出発式
- ・大分県内の外国人労働者数、過去最多8383人 水際緩和や人手不足影響か
- ・旅館「由布院玉の湯」、県内初の世界倫理憲章署名 持続可能な観光誓う
- ・鶏肉の購入額と消費量、大分市が5年ぶり日本一 肉類全体の購入額も1位
- ・「おんせん県」動画でPR マーク・パンサーさんら出演



とり天



ひいなめぐり（杵築市）



金鱗湖（湯布院）

# News from Hiji

## 日出町からのお知らせ

日出町  
ホームページ



日出町は北にそびえる鹿鳴越連山、南に面する別府湾に囲まれた、自然豊かな海の城下町です。江戸時代に木下延俊が日出藩を与えられ築いた日出城址や、馬上金山の採掘で巨万の富を築いた成清博愛の旧邸宅「的山荘」など歴史的文化財も多く点在しています。

そんな日出町のこれからの時期、旬を迎えるのは「潮トマト」です。ある年の台風の際、海の近くにある農園に海水が混じりそこに出来たトマトがとても甘かったことから海水を与えて育てるアイデアを着想し、「海水栽培」を採用しました。潮トマトは通常のトマトよりも小ぶりですが高い糖度と濃厚なうまみが特長です。糖度によりランクを分けており、一番糖度の高い糖度10以上のトマトはフルーツのような甘みにトマトの概念を覆されるほど。ぜひ一度ご賞味ください。

そして日出町の特産品といえば、やっぱり城下かれい！別府湾内の海水と真水が混じる海域で育つ城下かれいは泥臭くなく上品な甘みを持つのが特長。豊かな自然に生まれ、江戸時代には將軍家にも献上された城下かれいは肉質が柔らかく、淡泊ななかにも甘みがあり、独特の滋味深さと上品な甘みが口いっぱいに広がります。お刺身でも唐揚げでも煮付けでも、どんな調理法でも美味しく頂ける城下かれいは5月～7月に旬を迎えます。天下の美味を味わいに日出町へお越しください。



- 1 日出城址
- 2 城下かれい
- 3 潮トマト
- 4 的的山荘

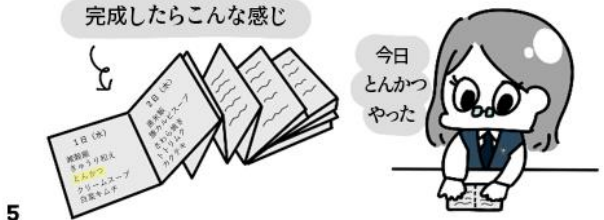


ノジの昔話

## 高校時代のダイエット体験談 ①



月に一度は必ず献立表を折り本に作り常に持ったりする毎日を送った。



高校時代、学校選びの基準が「給食がおいしいかどうか」であるくらい、  
※韓国の学校ではお弁当を食べない!



当時の私も皆と同じように食べることが大好きな高校1年だったが、



一日の大半を学校で過ごす高校生にとって「食べること」はとっても大事だった。



ある日、大ファンだった先生から食生活を大きく変える言葉を言われた。



教室でお菓子でも食べようとしたらクラスメートが一斉にハイエナになったり、



2  
「大学入試はしんどいからちゃんと食べなきゃ」と思って本当にいっぱい! 食べていた!!

# from our Reporters 国際交流員だより



## ◆ 家族との再会in大分！

ノ・ジョン  
韓国国際交流員 盧知榮

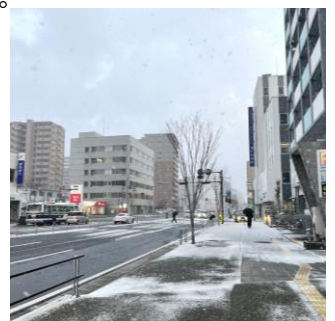
先日、海外滞在中の私を心配している家族を安心させようと、家族を大分に招待しました。実家の韓国・釜山と大分はとても近いですが、コロナの影響により私が来日してから2年が経ち、やっと来られました。前述したように、この旅行の目的は「家族を安心させること」ですが、「大分の魅力を満喫してもらうこと」も忘れずに、充実した行程を組みました。4日の日程で、まずは私の家・職場・商店街などの生活圏を紹介し、別府と由布院の観光スポットにも訪れましたが、家族は「由布院の旅館で『みんなでゆっくりしていた時間』が一番良かったそうです。私も愛する家族に大好きな大分を紹介でき、嬉しかったです！



## ◆ 雪の行(ゆ)き先

アメリカ国際交流員 オースティン・ヴォーン

僕の出身地は正直おかし。矛盾しているところが結構多いですが、その一つは天気です。四季があり、暑い夏もあるし、もちろん寒い冬もあるので、その中に、最近はおかしい気象現象が続いています。特に冬は、一日、零点以下で雪がたくさん降ったり、次の日15°になって全部消えたりして、「世界一の雪質」と宣言しているユタ州にとっては大変な時期となっています。で、比較的が安定している大分に引っ越した時は、うれしかった。うれしかったが、雪だけは恋しかった。山の方で見えますが、やっぱり違います。と思ったところ、1月にユタ州から帰ってきて、一番雪が見たかったときに、降ってきました。大分市に。大分での初めての冬は全然降らなかったのが本当にシュールな光景でした。それでも、心の中ではしゃいでいました。



## ◆ 英国っぽいパンケーキ・デー！

イギリス国際交流員 スワラ・ファイフ

パンケーキ・デーについて知るべきことが3つあります。①パンケーキというものはクレープです。②パンケーキ・デーは本当の行事です。③元々キリスト教ではレント（断食期間）が始まる前のお祝いですが、全部の西洋の国々で祝っているわけではありません。今年のパンケーキ・デーは2月21日でしたので、2月23日の祝日にパンケーキ・デーを知らないアメリカ人の友達と一緒に祝いました。スーパーに行き、甘いトッピングをいっぱい買い、家でパンケーキの素を作りました。英国っぽい食べ方を最初に試してみました。それは砂糖とレモンをかけ、パンケーキを巻き、巻いたパンケーキの上に砂糖とレモンをまたかけるという食べ方です。その後、ナッツ、シナモンビスケット、キャラメル、メープル等をかけて食べました。最高のランチでした。晩ご飯も、チキンカレーのパンケーキでした！



## あなたの活動を世界に紹介しませんか？

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください！(様式は任意です)

【記事提供／お問い合わせ先】

国際政策課 担当: 伊藤、キム

【Mail】[a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

募集中!

